

幡中だより

あやめ

～since 1999～

第315号

令和7年10月2日
瀬戸市立幡山中学校



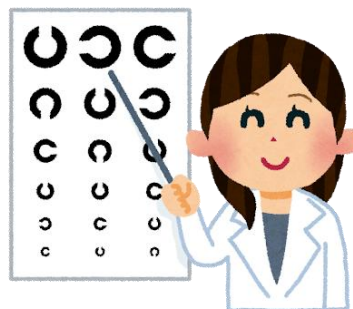
“見る力”を地域の力で

瀬戸市立幡山中学校長 梶田 明敬

「猛暑」を超えた「酷暑」とまで言われた厳しい暑さの日々もようやく終わり、秋空に映えるうろこ雲や朝晩の涼しさが心地よく感じられる季節となりました。幡山中学校では、これまで毎年8月に校地の草刈りを行ってきましたが、熱中症の心配もあり、昨年度から9月の終わりに時期を移し、コミュニティ・スクールの一環として実施するようになりました。今年度も9月27日（土）、午前6時50分から、地域ボランティアの皆さま、PTAのOB会である「弁天会」の皆さま、現役PTA、子どもたち、そして幡中職員、あわせて60名ほどが参加してくださいました。早朝の涼しい時間帯に実施できたことで、普段手の届きにくい場所まできれいに整備することができました。ご協力いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。



このように、コミュニティ・スクールの力によって、学校に新しい風が吹いているのを実感しています。その一つが「学校保健委員会」です。学校保健委員会は年間数回開かれ、幡中生徒の健康や「生きる力」をどう育むかを話し合う場です。昨年から地域コーディネーターの方々にもご参加いただき、地域や保護者の視点から貴重なご意見をいただいています。



先日の会合では、中学生の視力低下が話題となりました。もちろん学校としても視力が悪化しないよう指導を進めていきますが、子どもたち自身の意識を高めるのは容易ではありません。そこで、環境を工夫して関心をもたせようと、「見るだけで視力回復が期待できる書籍」を学級文庫に置いてはどうかという意見が出されました。休み時間に遊び感覚で本を眺めているうちに視力が回復するというのは驚きです。

このアイデアを受けて、地域の皆さまに回覧やポスターを通じて「視力回復に関する書籍」の提供をお願いできないか、ということになりました。もしご家庭で眠っている本がありましたら、各自自治会館または幡山中学校までご寄付いただけると幸いです。

地域の力を子どもたちの健康づくりに生かす ― これこそコミュニティ・スクールならではの取組だと感じています。詳しくは回覧のチラシやポスターをご覧ください。たくさん本が集まり、生徒たちの健康に役立つことを楽しみにしています。

2年生 野外活動

9月9日(火)～11日(木) 若狭湾青少年自然の家
スローガン
「絆 ～青春でおなかいっぱい～」

日中は汗ばむ陽気が続いた9月上旬、2年生は福井県の若狭湾にて2泊3日の日程で野外活動を行いました。初日の午後は一時的に雷雨となりましたが、その後は晴天が続き、ほぼ予定どおりの行程で活動できました。さまざまな場面で仲間と協力することで、絆を深めることができました。今後の学校生活に生かしてほしいと思います。



後期生徒会役員選挙

9月18日(木) 6限目

幡山中学校 体育館・各教室

本校では、生徒会役員選挙も主権者教育の一環と位置づけ、瀬戸市選挙管理委員会の協力で記名台や投票箱をお借りして実施しています。本番さながらの雰囲気で行う投票に、生徒たちは程よい緊張感の中で、一票を投じる重みを感じている様子でした。



校内草刈り奉仕活動

9月27日(土) 6:50～10:00

本年度も、コミュニティ・スクールの活動の一環として、校内の草刈り奉仕活動を行いました。早朝から地域・保護者に集まっていただき、敷地内の緑化整備に汗を流していただきました。刈った草は、生徒たちが集めてから袋詰めして片づけました。



『お知らせ』

11月4日(火)は学校公開日です。幡中の様子を知っていただける絶好の機会です。2・3限の間に、ご都合に合わせてお越しください。地域のみなさまは、来賓玄関が受付です。なお、保護者の方は、お子様の生徒玄関から校舎へお入りください。

【2限は 9:40～10:25 3限は 10:35～11:20】